

## 平成19年度 第1回 平塚市博物館協議会 会議録

### 開催日時

平成19年5月24日(木)10時~12時

### 開催場所

平塚市博物館 特別研究室

### 会議出席者(敬称略)

会長 江藤 巖

委員 加藤 幸子、庄司 一郎、立山 洋典、田村 壽

事務局 浜口館長、井上館長代理、明石館長代理、澤村館長代理

### 会議の概要

#### 1 開会あいさつ

浜口館長：今年度の第1回協議会ということで、また何回かお知恵を拝借したいと思いますのでよろしくをお願いします。最初に、四月に人事異動がありましたので御紹介します。まず管理担当に着任された井上さんです。それから沢村学芸員が館長代理になりました。併せてよろしくをお願いします。

#### 2 会長あいさつ

江藤会長：この一年間、またよろしくをお願いします。協議委員6名のうち5名出席で会議が成立しております。それではさっそく議題に入りたいと思います。

#### 3 議 題

##### (1) 平成18年度事業報告について

入館者状況について

プラネタリウム観覧者状況について

教育普及活動について

施設利用状況について

展示事業について

プラネタリウム投影について

収入について

以上について、明石館長代理館から資料にもとづき一括して報告した。

#### 〔質疑応答〕

立山委員：プラネタリウムの小学校観覧者の増加は、子どもを連れて外部に出るのは大変なことだと思うのですが、どういうPRをされているのですか。

沢村館長代理：団体の場合は、星の学習の単元に合わせ、ダイレクト・メールで「今年はこの時期に行きます」とご案内しています。

立山委員：館の収入は館で使用できるのですか？

浜口館長：基本的に、収入が増えたとして、その分を通常予算より多く使える、という仕組みではないのです。予算で設けた一定金額のうち、この部分については、この収入から充てなさい、と差し引きで計算されています。収入が多くなれば、予算を取る時、ここはこれだけ収入があるので増やしてほしい、と言える余地はあるのですが。

江藤会長：プラネタリウム観覧に市外の小学校から来られる、ということですが、この近辺の市町村で

プラネタリウムの設備があるのはどういうところですか。

沢村館長代理：この近辺では伊勢原市、厚木市、藤沢市、海老名市がプラネタリウムを持っています。

庄司委員：プラネタリウムの利用について、博物館・美術館の担当者が「ぜひお願いします」ということを定例校長会で話をしていただければ、PRになり利用が増えるのでは？ 教育普及活動の中に、各学校への出前授業などの時に講師を頼みたい、ということがカウントされていないようですが、そういうことがあるのかどうか、お聞きしたい。

浜口館長：実際に学芸員が学校でお手伝いをするというケースがいくつかあります。きちんと統計をまとめておりませんので今年の数字が申し上げられませんが、大事な点だと思います。去年は明石館長代理が吉沢小やなでしこ小の総合学習のお手伝いに何回か行ってあります。

田村委員：18年度入館者状況ですが、平塚のような地域博物館で7万5千人弱というのは大変な数字だと思います。数字は比較しやすいので多いに越したことはありませんが、いつか必ず頭打ちになるわけですから。増やすことも大事ですし、館の努力には頭が下がりますが、それだけにこだわらず、来年度以降も地域博物館としてこれまで通り活動をよろしくお願ひしたいと思ひます。恐らく、これまで市の関係者は多い・少ないということのみを話題にすることが多かったと思ひますが、それにめげずに博物館活動をよろしくお願ひしたいと思ひます。

浜口館長：ありがとうございます。

加藤委員：先のお話のように8年後に300万人達成できれば素晴らしいですが、無理に入館者数を増やすことだけでなく、今までどおり地道な活動を大切にしたいと願っています。また教育普及活動で6500人の方が参加されているというのは素晴らしいことで、誇っていい数字だと思います。学芸員の方々が26の活動の一つ一つに大きな力を注がれたことに感謝し、これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

## (2) その他の報告について

春期特別展「幕末の村おこし」について

第2回博物館こどもフェスタについて

以上について、明石館長代理から資料にもとづき一括して報告した。

## (3) 今後の予定について

館内の殺虫等について

夏期特別展「平塚の地形と地震」の開催について

平成19年度博物館実習生の受け入れについて

第7回公募写真展の開催について

以上について、明石館長代理から資料にもとづき一括して報告した。

## 〔質疑応答〕

立山委員：こどもフェスタは将来的に一日ということですか。お忙しい学芸員さんが総出で開催されていると思いますが、内容は昨年と変わっていますか。毎年替えるのは大変ですね。

明石館長代理：「二宮金次郎体験」と「はくづつかん太鼓連」が新たに加わっています。ご家族で大勢の方が来られて良かったと思います。また協力グループの方々の協力無くしてはできなかったと思います。

江藤会長：昨年の傾向と同様に、こどもは実際に自分の手で触れる昔の遊びやTVゲームのようなクイズに関心があるようですね。お手伝いが大変だと思いますので、来年から各サークルに呼びかけて、お世話になっている皆さんがお手伝いさせて頂くというのはいかがですか。少しでも盛り上げられたら、と思うのですが。

田村委員：実際に見ていますと各会に所属している方々が一生懸命なさってましたね。会の協力が無と、

こういうフェスタは成功しないですね。館と市民とが一致協力して行うフェスタは他の館に無い特徴で良いことだと思います。逆に館側は大変だと思います。学芸員は専門的な研究などに熱中していれば良い、というのとは違って、市民サイドへの心配りも大変だと思います。あまり負担になっても申し訳ないですが。天候が悪くても博物館に大勢来られて良かったです。

江藤会長：せっかくの連休ですから、人手や予算の点でマッチすれば、二日ぐらい続けてみることを今後の検討課題にさせていただければ。私だけの考えですが。

加藤委員：特別展で連続講座を積極的に開いてくださっていますが、ぜひ定着していただければ嬉しいです。展示解説も4回で32人ということでしたが、一般の方にもっと聞いていただきたいですね。展示解説について皆さんに知って頂く形として、ポスターやチラシ以外に何らかの工夫ができたらいいなと思うのですが。

明石館長代理：夏期特別展担当の森に委員の意見を伝えておきます。特別展の全体的な傾向として、10年前に比べ、参加できる関連事業が増えていると思います。それだけ実績が蓄積し、それができる状況になっていると思います。

立山委員：特別展の展示解説は、団体でまとまった場合、お願いすればやっていただけますか。

明石館長代理：担当学芸員があいていれば可能です。展示解説ボランティアのご協力を得て、それができれば、と思います。

江藤会長：特別展で展示解説ボランティアの方に団体の展示解説依頼は相当ありますか。

田村委員：団体の展示解説依頼の場合、現在はルールで、館の事務を通してもらう形になっています。特別展の団体の展示解説依頼は少ないと思います。常設展はかなりありますが。今度は自然系の特別展なので、現場のボランティアの方も自然系・人文系で、いろいろ得意・不得意がありますので、対応を考えねばならないと思います。

立山委員：関連行事は全て往復葉書で申し込む形になっていますが、インターネットでアクセスする形はできませんか。

浜口館長：それが課題になっていまして、大きな問題が二つあり、一つはIT化が過渡期で、インターネットに絞ると、それが出来ない方がいらっしゃるので、「葉書でもいいですよ」「インターネットでもいいですよ」と、二重の事務手続きになってしまう、という煩雑さがあります。もう一つは、葉書は担当者が処理しますが、インターネットは窓口が特定の職員に集中するので、スムーズに行く態勢を考えてはいるのですが、踏み切れていません。今はインターネットでの申し込みを求める方が多くなっていますので、早晚そういう形になると思います。

浜口館長：補足をさせてください。今後の予定でお話した消毒ですが、博物館の燻蒸についても地球温暖化のなかで過渡期にありまして、現在の薬品が使用禁止になり、その安全な代替薬品について博物館の世界全体で統一コンセンサスがとれていない状況です。今年度の実態調査を踏まえて、来年度・再来年度以降、安全な薬品を使い、また燻蒸の間隔などをしっかり捉え直して、的確な態勢をお示しできれば、と考えています。また“こどもフェスタ”について日数など、いろいろと御意見をいただきましたが、連休に合わせて行いたい、ということ、且つ現在の職員の勤務態勢に合わせ土・日に行いたい、ということがありまして、来年もどのようなスケジュールにするか、悩ましいところです。いずれにせよ、職員に無理のない形で、且つ多くのサークルの方々にご協力を頂いて、という基本線を守って考えていきたいと思っています。

加藤委員：実態調査は業者の方にお任せするのですか。

浜口館長：すでに契約を済ませ、展示室の一部に光で虫を呼び寄せる器具を設置し、年間を通して継続的に調査しています。

江藤会長：これまで実際に虫の被害などはあったのですか。

浜口館長：私が承知しているなかでは、植物の押し葉の標本に虫がついた例があります。

**(4) 協議会の開催予定について**

次回協議会：10月26日（金）に予定

**4 その他（意見交換）**

特になし。